

# 大石 一太郎

(改革みしま)

【他の質問事項】

□西間門新谷線の早期完成と計画の前倒しを



療育支援室はつたばた分室 にこパル

## ■発達障害児・発達障害者 対策などへの取り組み

◎発達障害児・者の生涯にわたる社会の仕組みづくりを進めている私立学校があるが、三島らしい教育面からの取り組みはできないか。

▲特別支援学級設置学校の実態に応じて、児童生徒の交流や共同学習、通常学級の教室の間に特別支援学級を配置するなど取り組んでいる。特別支援教育コーディネーター研修会は幼保小中高の合同実施で当市の特色ある施策である。

## ■子育て支援策などの充実

◎少子化対策をより充実させるために、多子世帯に対する配慮として、3人目以降の子どもに対し、出産祝い金を支給してはどうか。

▲既に実施している自治体の取り組みが、合計特殊出生率の向上や少子化をくい止める解決策となっているかを研究・検証するとともに、限られた財源で有効な少子化対策を引き続き検討していく。

# 佐藤 寛文

(フォーラム三島)



空き家

## ■空き家の有効活用に向けて

◎平成27年5月に空家等対策の推進に関する特別措置法が完全施行されたが、市内の空き家の現状を伺う。

▲平成25年住宅・土地統計調査によると、市内の住宅総数は53,520戸と推計され、3カ月以上継続的に居住していない空き家総数は7,680戸、空き家率は14.3%となっている。

◎人口増加、定住促進に向けて、空き家の有効活用のサポートが必要と考えるが、今後当市の住宅政策にどう取り組んでいくのか伺う。

▲中古住宅の住宅診断を行い、その情報をホームページで紹介することで、流通を促進させ、利活用を図る。また、移住を希望する若い世帯に対して、住宅取得費用の一部助成やリフォーム工事についても補助を行っていきたい。

# 川原 章寛

(新未来21)



せせらぎ号

## ■立地適正化計画に伴うリスクの回避に向けて

◎郊外の住宅地において、生活利便性の悪化などが危惧されるが、市街化区域内における誘導区域の設定をどのように考えているのか

▲中心市街地のみならず都市機能を集約させるのではなく、北上・錦田・中郷などの各地域の拠点周辺に都市機能を誘導する区域を設定し、その周りに居住を誘導するようなエリアを設定することで利便性を確保していきたい。

◎都市機能の集約に伴い、地域公共交通網計画を策定し、デマンド型交通の導入などネットワークの拡充を図るべきと考えるがどうか。

▲高齢者や住民の利便性確保のため、中心市街地と各地域の都市機能誘導区域をつなぐ公共交通の充実や拡充は必要と考える。バス路線網やデマンド型交通などの導入について、先進事例を参考にしながら検討・推進していく。

## 土屋 利絵

(改革みしま)



三島市役所

### ■三島市の財政問題と公共施設統廃合問題

- ◎市の借金残高は毎年少しずつ増えており、今後はファシリティマネジメントの問題もある。借金残高をどのようにしていくのか伺う。
- ◎行政の事業について、市民や民間企業の自由な提案を募集する、民間提案型の公民連携制度の導入を検討してはどうか。
- ▲次世代の負担を軽減していくことは将来の発展に欠かせない重要な取り組みであることから起債の抑制に努めるとともに、市債残高の状況をあらゆる側面から捉え、将来負担を推計し、各年度の市債発行額を決める必要がある。
- ▲民間提案制度は平成25・26年度に雇用対策事業で実施した。民間提案型公民連携制度は、住民サービス向上や市の歳出抑制に有効な手段であることから、他の自治体の先進事例も研究し、制度実施の費用対効果や課題を検証したい。

## 村田 耕一

(公明党)

【他の質問事項】

- 子ども貧困対策としての学習支援室の設置状況



エアコン (イメージ)

### ■学校教育環境の整備と向上

- ◎国の学校環境衛生基準に基づき、全国でもエアコン設置に取り組んでいるが、三島市の小中学校の教室にも設置できないか伺う。
- ▲エアコン設置については、猛暑の期間である7月後半から8月後半までは夏休みになることや、電気料や維持管理費等も高騰するため、平成23年度から設置している扇風機により学校教育環境の整備と向上を図っていく。

### ■スクールカウンセラーの相談申込先

- ◎相談申込先は学校の先生となっているが、スクールカウンセラーの外部性利点を生かし、申込先の選択肢を増やせないか。
- ▲スクールカウンセラーの申込みは、学校のどの職員を通してでもできるが、より相談しやすい体制づくりを推進するために、三島市教育委員会の担当者が受け付けることも含めて研究していく。

## 佐野 淳祥

(改革みしま)

【他の質問事項】

- 中学の免許外教科担任をなくし、学力向上を



老朽化した楽器 (溶接の取れた管)

### ■中学校文化部の活性化

- ◎文化部は各校平均2部のみで、その6割強の生徒が吹奏楽部に所属している。また楽器の老朽化も顕著である。支援ができないか。
- ◎若い世代が注目するハンドメイド市の開催を
- ◎手作りの子ども服や雑貨などが人気だが、若い世代の活躍の場、食育、ものづくりなどの観点から、大規模開催できないか。
- ▲部活動の振興を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、各中学校に部活動の活動費の一部を補助している。吹奏楽部の楽器については各学校が配当予算の中で計画的に修理、整備するよう努める。
- ▲小規模ながら市内で過去に開催した実績があるが、若い作家の創業を促し産業振興につながる仕組みであると考えている。早期開催に向けて、過去の手法や補助金を活用し、市内の回遊性を創出する運営方法を関係団体と検討したい。

18人の議員が行った主な質問について、寄せられた原稿を掲載します。